県政に活力！ 地域にぬくもりを！

長崎県議会議員

やまぐち　はつみ

山口はつみだより No.29

平成24年４月　発行責任者：山口初實　編集責任者：髙田祐樹

県議会一般質問に登壇・県政を質す！

県議会基本条例成立！

桜の花も咲き誇る春爛漫の季節を迎え、皆様には躍動感あふれる日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて長崎県議会の課題であった議会基本条例が全会一致で成立致しました。

議会基本条例の策定にあたり、ワーキンググループ（ＷＧ）の代表を務めさせて頂き、制定に向け策定検討作業を推進してまいりました。策定検討作業に携りご協力賜り汗をかいて頂きましたＷＧの12名の同志の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

更にパブリックコメントにご協力を頂きました県民の皆様に謹んで厚く御礼申し上げます。

県議会基本条例は、議会に関する基本的な事項を定めることにより、身近で信頼できる議会として県民の負託に応え、真の地方自治の実現に取り組むため、いわゆる真の議会改革を一歩前進させるため制定を目指してまいりました。

ＷＧによる10数回にわたる策定検討作業を経て素案を策定し、県民の皆様のご意見をお聞きするためにパブリックコメント（ＰＣ）を実施致しました。

ＰＣに於いては６人の方より30項目のご意見が寄せられたところです。

その中から、検討の結果、３項目のご提言と２項目のご意見を採用させて頂き、素案を修正し、議会最終日に提案を行い満場一致採択して頂き成立致しました。

一問一答方式で県政を質す

9章26条からなる 長崎県議会基本条例

条例化の目的を「県民の幸福に寄与する」こととし、「広聴・広報委員会の設置」や「議員の賛否の公表」、更には「予算案、計画案など議会への説明の義務付け」等を謳い、政策決定に議会が積極的に関与することとしました。

この基本条例の基本理念は、「議会は、２元代表制の一翼を担うものであり県政における議事機関として、県民の意思を県政に反映させることにより県民の負託に応え、公平かつ公正な議論を通じて、真の地方自治の実現に取り組むものとする」と謳いました。

尚一層信頼される議員として頑張ります。皆様の更なるご指導、ご支援をお願い致します。

長崎県議会議員　山口 はつみ

君の夢、はばたけ今、ながさきから
2014年長崎国体・スローガン

環境生活委員会報告

平成24年度は環境生活常任委員として務めます。今次委員会での私の質疑について概略報告致します。

大村湾奥の浄化対策を急げ！

【質問】大村湾の再生に向けた水酸化マグネシウム散布による大村湾奥の低質改善を積極的に行うべきだが。

【環境政策課長】平成24年度も引き続き40ｍ×40ｍ×８か所で低質改善の実証試験を行う。年に２回散布して、散布しないところと低質の状況、ＰＨ、底生生物の状況を比較調査する。

新幹線は全線フル規格で整備すべき！

【質問】昨年末に諫早～長崎間の着工の見通しがついたことにより武雄～長崎間はフル規格で整備できる状況となったが、新鳥栖～武雄間はフリーゲージ構想のままである。今後の課題として長崎県は佐賀県及び国と協議を行い西九州ルートの全線フル規格に向け全精力を傾注し方針変更しなければならい。県の考え方は。

【新幹線事業対策室長】全線フル規格については、新たな整備区間が佐賀県内になるので負担を含めて今後の課題となる。

《意見》一定の性能が確保できたフリーゲージトレインの開発にこれ以上の予算をつぎこまず新鳥栖～武雄間のフル規格に向けた整備に費用を充てていくことにするべきだ。

長崎港松ヶ枝ふ頭の整備を急げ！

【質問】上海航路が定期就航になったが長崎港の改善が急務である。乗降設備の改善と通関ＣＩＱの整備が喫緊の課題であるが。

【港湾課長】手荷物を持った乗降客の安全性の確保とバリアフリー対応としてボーディングブリッジの検討を早急に行う。また入管ブースを22増設するべく、新たなターミナルを７月までに整備し手続き時間を半減し迅速な入管手続きとする。

県営バス、駅前ターミナルの改善が必要！

【質問】アジアのゲートウェイ機能としての玄関口である駅前周辺において長崎駅前ターミナルが老朽化している。新幹線、上海航路と合わせターミナルの重要性が増しているが改善策は。

【交通局長】建物が50年近く経っている。基本的に建て替えが必要だと認識している。市の駅周辺の区画整理事業と合わせ具体的に検討し６月定例会に報告する。

採択された意見書

- 心の健康を守り推進する基本法の制定を求めることについて
- 障害者総合福祉法（仮称）の制定を求めることについて
- 諫早湾干拓事業の潮受け堤防排水門の開門に向けた事前対策工事の着手の中止について
- エネルギー基本計画における石炭火力発電の比率向上と高効率化のための技術開発促進について
- 若者雇用をめぐるミスマッチ解消について

平成24年度の議会での役割　山口はつみ

- 環境生活常任委員会委員
- 議会運営委員会委員
- 諫早湾干拓事業における入植者選定に関する調査特別委員会委員（百条委員会）
- 広聴広報協議会座長

コラム江戸町

通年議会導入を可決！

私たち長崎県議会は、定例会を現在の年４回から年１回とする「通年議会」を導入することになりました。都道府県議会では栃木県議会が通年化することになりましたが、議決は長崎県が全国で初めてです。今年の５月から来年の３月までの通年議会となります。

通年化により、知事が年１回議会を招集すれば、その後は議長が必要に応じて開けるようになり災害時等迅速に対応できることになります。

通年議会により委員会の審議日数が現在の１２５日／年から1.5倍の１９３日となる予定です。

議員報酬減額！

また、議員報酬（給与）を議員一人当たり年間百万円程度削減し、２年間で計約一億円の減額となります。

このように私たち連立会派が議会をリードすることで県議会の改革が一層進むことになります。ご期待ください。

ご相談はお気軽に！

長崎県議会議員
山口はつみ
事務所：TEL･FAX 0957(43)2800
自　宅：TEL･FAX 0957(44)1003
携　帯：０９０（２５１４）９８３５
E-mail:hatumi@mrh.biglobe.ne.jp

平成24年度当初予算など84議案可決！

２月定例県議会報告

定例県議会は2月21日～3月16日の会期で開催されました。

総額7，004億円の一般会計当初予算案を含む84議案を可決、同意し閉会しました。

私がワーキンググループの代表を務め策定作業を推進してきた、議会改革の一環で議員の役割や活動などを明文化した「県議会基本条例」を提案し、全会一致で可決成立いたしました。

また、これまで年4回だった県議会は「通年議会」となり、そして県議会議員及び知事、副知事の給与、報酬が減額されることになりました。

今議会に於いて、一般質問に登壇し、「東日本大震災と原発事故関連について」、「西海市連続殺人事件に関する警察の対応について」、「累犯障害者の社会復帰支援について」等について質しました。「西海市連続殺人事件に関する警察の対応や原子力安全協定」についての私の一般質問の内容は翌日の3月3日（土）マスコミ各紙が大きく報道致しました。

一般質問に登壇！

一般質問の主な項目についてご報告いたします。（詳細は県議会ＨＰの録画中継をご覧ください）

◆原子力安全協定を速やかに締結すべき！

【質問】長崎県は隣接県ではあるが、松浦市鷹島町は玄海原発に対し海を隔てて8.3kmにあり、立地県と地理的な条件は同じである。県民の意向として原子力安全協定の早期締結が急務である。具体的な見通しは。

【知事】本県としては、立地県である佐賀県と九州電力との協定をベースに、他県との協定も参考にしながら協議を進めているが、事前了解や立ち入り調査について意見の隔たりがある。年度内の締結は難しいが早期締結を目指し交渉を継続する。

◆瓦礫の処理を受け入れて復旧復興を支援しよう！

【質問】大量の瓦礫が東日本の復興の妨げになっている。知事は各市町をリードしながら救済対応をしなければならないが見解は。

【知事】被災地の1日も早い復旧、復興を図るためには、全国の自治体が協力して処理を進めることが重要である。焼却灰を埋め立てる最終処分場の安全性が確認された段階で広域処理について県内各市町と協議を行う。

◆西海市における殺人事件に関する警察の対応について

【質問】今回の痛ましい事件に関して3県警（三重、千葉、長崎）の対応について、長崎県警としてどのように受け止めているのか。またこのような広域事案についての対応は。

【県警本部長】この事件が発生し尊い2人の命を守ることができなかった点については大変重く受け止めているが、3県警で連携し検証中である。広域事案については関係警察と緊密な連携をとり、情報の共有を図り、組織的な対応が肝要である。

【質問】今回の事件は男女間のトラブルとして対処されている、ＤＶ防止法あるいはストーカー規正法が適用されることになるがどの法律を適用して対処しようとされたのか。

【県警本部長】結果としては、殺人という結果になったので刑法の殺人罪を適用した。

ＤＶ防止法は夫婦間や内縁関係にあるものに規定されているので、ＤＶ防止法の適用は困難であった。ストーカー規正法に於いては、被害者本人だけではなく、被害者の家族や友人などに対するストーカー行為に対して警告や禁止命令を発出するという措置をとることができる。

◆長崎がんばらんば国体成功に向けて！

■国体の競技会場間を結ぶ国道207号の改良を急げ！

【質問】メイン会場の諫早市とソフトボール会場の長与町、時津町を結ぶ国道207号線の佐瀬地区5～6kmの改良整備が喫緊の課題である。早期改良に向けての見解は。

【土木部長】部分的な改良を13か所行ってきた。今年度は白岩地区の130mが完成し、現在船津地区で新たな工事に着手し、来年度工事に向け2か所の測量設計を行っている。引き続き整備を進める。

■競技役員の養成が課題だ！

【質問】各競技種目において資格が必要な審判員、運営員が不足している。資格が不要な競技役員や競技補助員も必要だが、具体的な養成の考え方、手法は。

【国体・障害者スポーツ大会部長】6，700名の県内競技役員の養成については、県及び協議団体が主体となって行うこととなっている。資格が必要な競技役員3，252名の中央団体が開催する資格取得講習会への派遣旅費や県競技団体が開催する県内講習会の開催経費については県が補助する。資格を必要としない競技役員3，432名についても養成事業を開始し経費について補助を行う。

県議会 ―一般質問の焦点―

特調制度適用 全国１割

山口（やまぐち） 初實（はつみ）議員（改革21・諫早市）

―刑務所出所後、身寄りがない障害者らを福祉につなぐ特別調整制度の県内の状況は。

岩本公明福祉保健部長 2009年4月から11年6月までに58件あり、全国の1割に当たる。そのうち施設入所など福祉につながったケースが25件で全体の43%を占める。

―長崎がんばらんば国体での宿泊施設の確保対策は。

藤原敬一国体・障害者スポーツ大会部長 期間中の参加者は3万4千人で、延べ14万人、ピーク時は（1日）1万5千人の宿泊が見込まれる。県内の宿泊施設は収容力に偏りがあり、長崎や県央地域の客室不足が課題。近隣市町との調整、公共施設利用や民泊の検討など対策に取り組む。

（3月3日付　長崎新聞）

活動スナップ

県民栄誉賞を受賞された故市川森一氏のご家族と

新装になったみかんセンサー選果機を視察（ＪＡ伊木力選果場）

長崎上海航路定期就航出発式（松ケ枝埠頭）

春季生活闘争総決起大会で挨拶（於、諫早文化センター）